

米国 5ヵ月ぶりの受注減少(09年8月製造業受注)

発表日：2009年10月5日(月)

～回復基調が続くも、回復力は脆弱～

第一生命経済研究所 経済調査部

近江澤 猛(おおみさわ たけし)

03-5221-4526

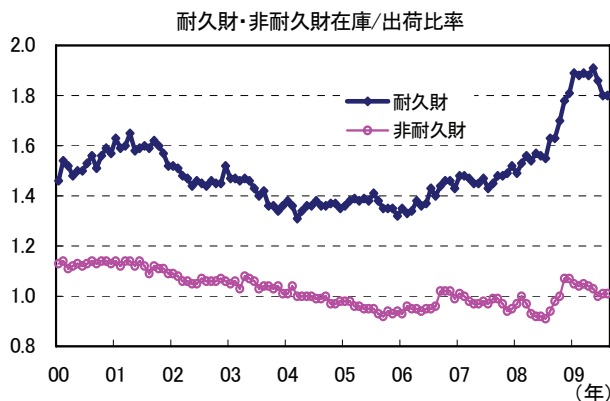
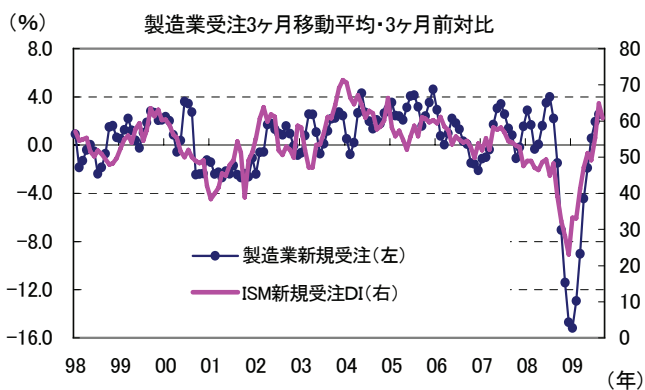
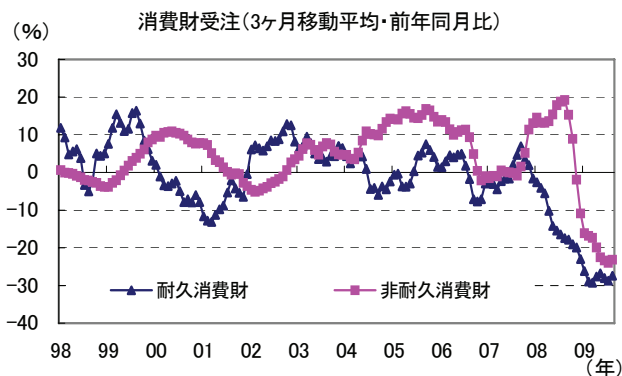
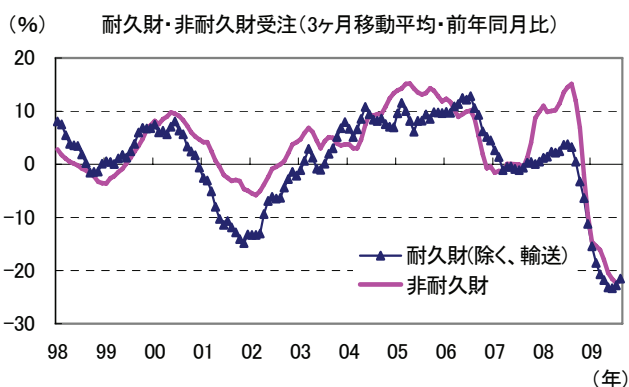
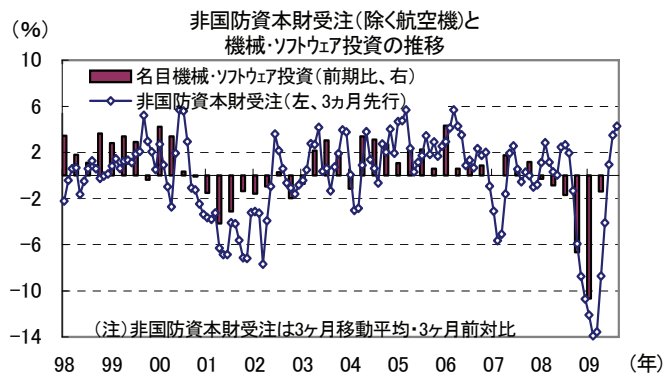
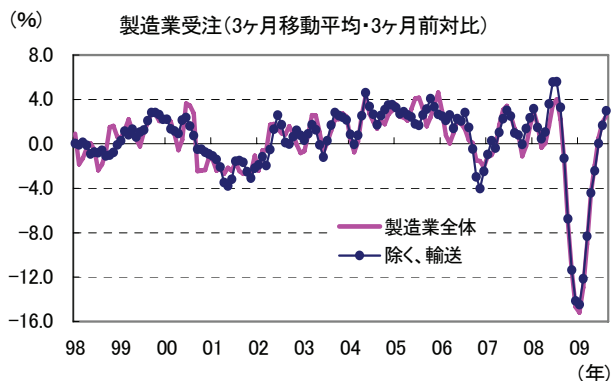
- 8月の製造業受注は前月比▲0.8%（前年同月比▲20.4%）と、前月同+1.4%（同▲23.%）から減少に転じた。前月比での減少は5ヵ月ぶりで、非国防航空機・同部品の受注が7月に前月比+98.1%と大きく上振れた反動で8月が同▲42.6と減少した影響が大きい。同統計は単月での変動が大きいため、3ヵ月移動平均・3ヵ月前対比で均してみると、製造業受注は+2.5%（前月+1.9%、前々月+0.6%）と海外経済の持ち直しと、在庫調整の進展により回復基調が続いている。
- 機械・ソフトウェア投資の先行指標である非国防資本財受注（航空機除く）は前月比▲0.9%（前年同月比▲21.1%）と前月同▲1.3%（同▲22.2%）に続き2ヵ月連続で減少した。5、6月と大幅な回復を見せた同統計も低水準にある設備稼働率を背景に設備投資需要は弱含み、回復力は脆弱な状態が続いている。3ヵ月移動平均・3ヵ月前対比で均してみると、+4.3%と（前月同+3.5、前々月同+0.9%）回復基調が続いており、年後半の名目機械・ソフトウェア投資の拡大が予想される。
- 耐久財受注の内訳をみると、一次金属、加工金属はそれぞれ、前月比+2.0%（前年同月比▲35.6%）、同+0.7%（同▲15.5%）と金属価格の上昇に加え、在庫調整の進展により受注は上向いている。機械は同+0.5%（同▲29.3%）と前月の大幅な減少から増加に転じたものの、回復は弱い状態にある。コンピュータ・電子製品は▲1.1%（同▲8.5%）と4ヵ月連続ぶりに減少した。輸送機器は同▲9.1%（同▲23.8%）と自動車買い替え促進策の効果で自動車・同部品は2ヵ月連続で増加したものの、非国防航空機・同部品が前月に大きく上振れた反動減により全体を押下げた。家具・同関連製品は同▲0.5%（同▲23.7%）と住宅部門低迷の影響を受け、回復の兆しは見えていない。
- 先行きについては、海外経済の持ち直しや在庫調整の進展により、3ヵ月移動平均・3ヵ月前対比で均して見ると製造業受注は年後半、拡大基調が続くとみられる。加えて、ISMの調査で18業種中12業種が景気対策の効果を見込むと回答しており、年後半、景気対策による受注押し上げ効果が現れるとみられる。しかし、自動車買い替え支援策打ち切りの影響、低水準にある設備稼働率を受けた設備投資の不振、雇用環境の悪化による消費の脆弱さを背景に、受注の回復は緩やかなものに留まるとみられる。

製造業受注 (Manufacturers' Shipments, Inventories and Orders)

	出荷			受注			在庫					
	製造業	除く輸送機器	非国防資本財 除く航空機	製造業	除く輸送機器	非国防資本財 除く航空機	製造業	除く輸送機器	非国防資本財 除く航空機			
08/09	▲3.1	▲3.8	+1.7	▲3.1	(+0.9)	▲4.3	(+3.1)	▲3.4	(▲1.7)	▲0.8	▲0.9	+0.1
08/10	▲3.6	▲3.4	▲3.7	▲6.0	(▲6.3)	▲5.1	(▲3.3)	▲6.7	(▲6.1)	▲0.6	▲1.0	+0.3
08/11	▲6.5	▲6.8	▲1.3	▲6.5	(▲13.8)	▲6.0	(▲10.8)	+1.1	(▲5.1)	▲0.5	▲1.1	+0.0
08/12	▲3.3	▲3.9	+0.1	▲4.9	(▲19.5)	▲5.4	(▲16.1)	▲5.9	(▲14.6)	▲1.9	▲2.8	+0.5
09/01	▲2.6	▲2.4	▲9.4	▲3.5	(▲20.5)	▲2.4	(▲17.8)	▲12.3	(▲24.5)	▲1.1	▲1.2	▲0.8
09/02	▲0.5	▲0.6	▲0.2	+0.7	(▲19.7)	+0.5	(▲16.1)	+4.1	(▲20.6)	▲1.3	▲1.5	▲0.9
09/03	▲1.8	▲2.2	▲1.7	▲1.9	(▲22.3)	▲2.1	(▲20.0)	▲1.4	(▲20.9)	▲1.2	▲1.2	▲1.6
09/04	▲0.5	▲0.5	▲2.9	+0.5	(▲22.9)	▲0.2	(▲22.3)	▲3.5	(▲26.0)	▲1.2	▲1.5	▲1.2
09/05	▲0.8	▲0.0	▲0.4	+1.1	(▲22.8)	+0.9	(▲22.3)	+4.3	(▲22.6)	▲0.8	▲0.9	▲1.2
09/06	+1.8	+1.9	+1.4	+0.9	(▲23.6)	+2.7	(▲22.2)	+3.8	(▲20.9)	▲1.1	▲1.4	▲2.2
09/07	+0.3	+0.2	+0.3	+1.4	(▲23.2)	▲0.6	(▲23.0)	▲1.3	(▲22.2)	▲0.9	▲1.3	▲2.1
09/08	▲0.3	▲0.0	▲2.0	▲0.8	(▲20.4)	+0.4	(▲19.9)	▲0.9	(▲21.1)	▲0.8	▲0.3	▲0.7

(出所) 米商務省

(注) 前月比伸び率。 () 内は季節調整値の前年比。



(出所) 米商務省、ISM

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。